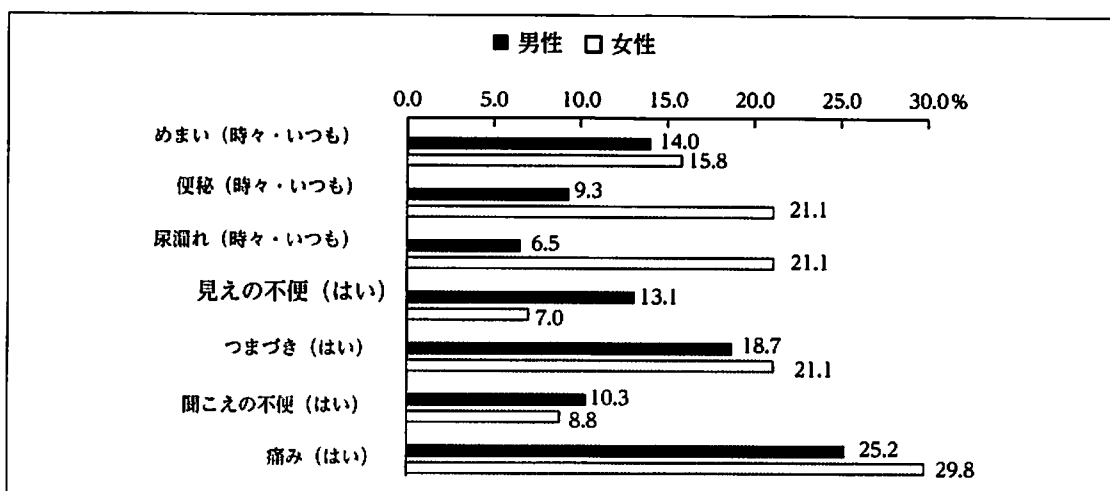


## (3) 主要な症状について

		男性		女性		計	
		実数	%	実数	%	実数	%
全体数		107	100.0	57	100.0	164	100.0
急にめまいがする	いつも	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	時々	15	14.0	9	15.8	24	14.6
	いいえ	92	86.0	46	80.7	138	84.1
	回答なし	0	0.0	2	3.5	2	1.2
風邪でもないのにせきがよくでる	いつも	2	1.9	0	0.0	2	1.2
	時々	13	12.1	8	14.0	21	12.8
	いいえ	92	86.0	49	86.0	141	86.0
便秘がひどい	いつも	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	時々	10	9.3	12	21.1	22	13.4
	いいえ	97	90.7	45	78.9	142	86.6
尿もれが気になる	いつも	1	0.9	0	0.0	1	0.6
	時々	6	5.6	12	21.1	18	11.0
	いいえ	100	93.5	45	78.9	145	88.4
眼鏡をかけても物が見えにくく、日常生活に不便を感じている	はい	14	13.1	4	7.0	18	11.0
	いいえ	92	86.0	53	93.0	145	88.4
	回答なし	1	0.9	0	0.0	1	0.6
最近、耳の聞こえがわるく日常生活に不便を感じている	はい	11	10.3	5	8.8	16	9.8
	いいえ	96	89.7	52	91.2	148	90.2
段差などにつまづくことがある	はい	20	18.7	12	21.1	32	19.5
	いいえ	87	81.3	45	78.9	132	80.5
体のどこかに痛みがありますか	はい	27	25.2	17	29.8	44	26.8
	いいえ	79	73.8	40	70.2	119	72.6
	回答なし	1	0.9	0	0.0	1	0.6



主要な症状では、男女ともに体の痛みが多かった（男性 25.2%、女性 29.8%）。次いで男性では、段差のつまづき、見えの不便が多い。女性では、つまづき、尿漏れ、便秘がそれぞれ 21.1% と多い。

#### (4) その他の状況

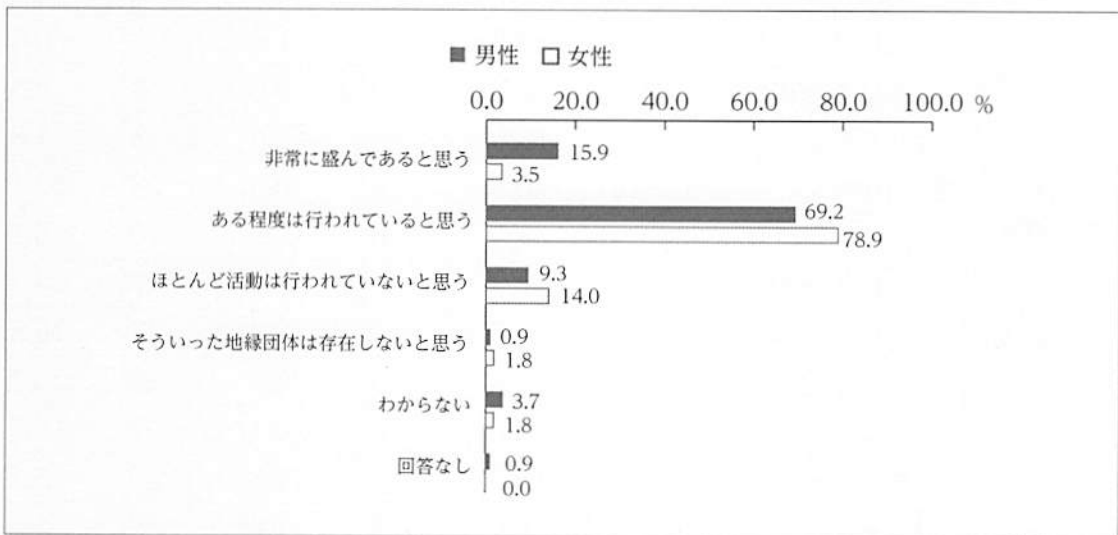
		男性		女性		計	
		実数	%	実数	%	実数	%
全体数		107	100.0	57	100.0	164	100.0
現在の家族構成	一人暮らし	3	2.8	4	7.0	7	4.3
	夫婦など	67	62.6	25	43.9	92	56.1
	親子・孫など	28	26.2	23	40.4	51	31.1
	その他	2	1.9	0	.0	2	1.2
	回答なし	7	6.5	5	8.8	12	7.3
治療中の病気	あり	67	62.6	30	52.6	97	59.1
	なし	40	37.4	27	47.4	67	40.9
この1年間で入院しましたか	はい	7	6.5	2	3.5	9	5.5
	いいえ	100	93.5	55	96.5	155	94.5
骨折したことがありますか	はい	21	19.6	9	15.8	30	18.3
	いいえ	81	75.7	46	80.7	127	77.4
	回答なし	5	4.7	2	3.5	7	4.3

家族構成は「夫婦」が男性 62.6% 女性 43.9% と多い。治療中の病気については、男女ともに半数以上が「あり」と回答した。

(5) 「生活に関する質問票」から

問1. あなたがお住まいの地域では、町内会・自治会や子供会、老人会、消防団などの「地縁活動」は盛んだと感じますか？

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	107	100.0	57	100.0	164	100.0
非常に盛んであると思う	17	15.9	2	3.5	19	11.6
ある程度は行われていると思う	74	69.2	45	78.9	119	72.6
ほとんど活動は行われていないと思う	10	9.3	8	14.0	18	11.0
そういった地縁団体は存在しないと思う	1	0.9	1	1.8	2	1.2
わからない	4	3.7	1	1.8	5	3.0
回答なし	1	0.9	0	0.0	1	0.6



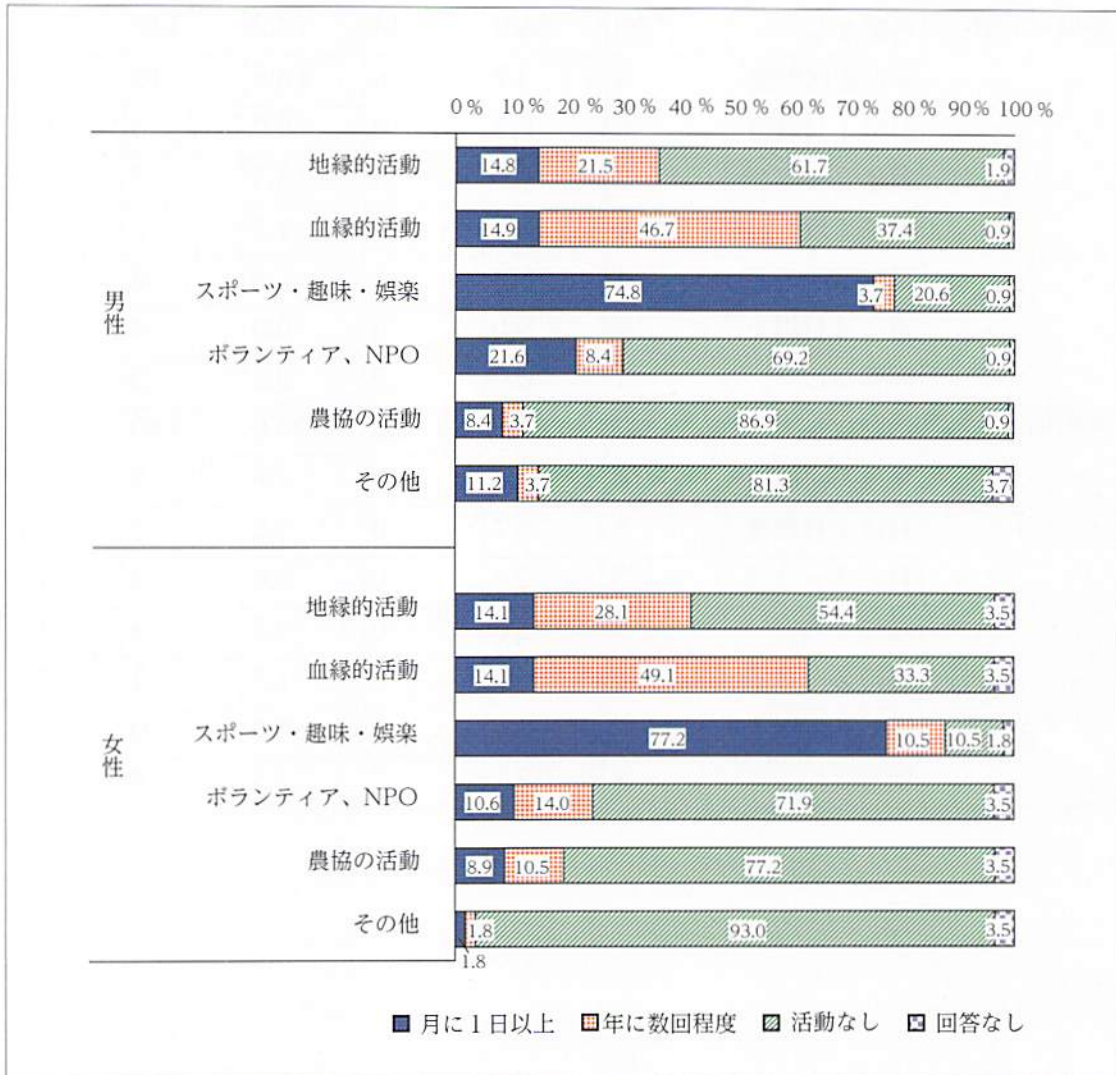
男女ともに、「ある程度行われている」との回答が高い（男性 69.2%、女性 78.9%）。

問2. あなた自身の、地域における活動についてお聞きします。

(1) あなたは現在、下記1～6のような活動をされていますか？

		男性		女性		計	
		実数	%	実数	%	実数	%
全体数		107	100.0	57	100.0	164	100.0
地縁的活動	活動なし	66	61.7	31	54.4	97	59.1
	年に数回程度	23	21.5	16	28.1	39	23.8
	月に1日程度	7	6.5	2	3.5	9	5.5
	月に2～3日	6	5.6	3	5.3	9	5.5
	週に1度	1	0.9	2	3.5	3	1.8
	週に2～3日	1	0.9	1	1.8	2	1.2
	週に4日以上	1	0.9	0	0.0	1	0.6
	回答なし	2	1.9	2	3.5	4	2.4
血縁的活動	活動なし	40	37.4	19	33.3	59	36.0
	年に数回程度	50	46.7	28	49.1	78	47.6
	月に1日程度	10	9.3	4	7.0	14	8.5
	月に2～3日	2	1.9	3	5.3	5	3.0
	週に1度	4	3.7	0	0.0	4	2.4
	週に2～3日	0	0.0	1	1.8	1	0.6
	週に4日以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	回答なし	1	0.9	2	3.5	3	1.8
スポーツ、趣味・娯楽	活動なし	22	20.6	6	10.5	28	17.1
	年に数回程度	4	3.7	6	10.5	10	6.1
	月に1日程度	4	3.7	3	5.3	7	4.3
	月に2～3日	20	18.7	7	12.3	27	16.5
	週に1度	19	17.8	19	33.3	38	23.2
	週に2～3日	21	19.6	6	10.5	27	16.5
	週に4日以上	16	15.0	9	15.8	25	15.2
	回答なし	1	0.9	1	1.8	2	1.2
ボランティア、NPO	活動なし	74	69.2	41	71.9	115	70.1
	年に数回程度	9	8.4	8	14.0	17	10.4
	月に1日程度	5	4.7	1	1.8	6	3.7
	月に2～3日	11	10.3	2	3.5	13	7.9
	週に1度	2	1.9	1	1.8	3	1.8
	週に2～3日	3	2.8	2	3.5	5	3.0
	週に4日以上	2	1.9	0	0.0	2	1.2
	回答なし	1	0.9	2	3.5	3	1.8

農協の活動	活動なし	93	86.9	44	77.2	137	83.5
	年に数回程度	4	3.7	6	10.5	10	6.1
	月に1日程度	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	月に2～3日	2	1.9	3	5.3	5	3.0
	週に1度	6	5.6	1	1.8	7	4.3
	週に2～3日	1	0.9	1	1.8	2	1.2
	週に4日以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	回答なし	1	0.9	2	3.5	3	1.8
その他	活動なし	87	81.3	53	93.0	140	85.4
	年に数回程度	4	3.7	1	1.8	5	3.0
	月に1日程度	5	4.7	0	0.0	5	3.0
	月に2～3日	3	2.8	0	0.0	3	1.8
	週に1度	3	2.8	0	0.0	3	1.8
	週に2～3日	1	0.9	1	1.8	2	1.2
	週に4日以上	0	0.0	0	0.0	0	0.0
	回答なし	4	3.7	2	3.5	6	3.7



地域における活動について、「月1日以上」男女ともに、「スポーツ・趣味・娯楽」が最も多く（男性74.8%、女性77.2%）であった。

(2) あなたは現在、下記の活動についてあてはまる番号に○をしてください。

		男性		女性		計	
		実数	%	実数	%	実数	%
全体数		107	100.0	57	100.0	164	100.0
1. スポーツ、レ クレーション、 文化サークル (マレットゴルフ など)	参加していない	45	42.1	21	36.8	66	40.2
	参加している	60	56.1	36	63.2	96	58.6
	参加しており、参加 者は性別、年齢、職 種の点で様々である	41	38.3	19	33.3	60	36.6
	参加しており、参加 者は性別、年齢、職 種の点でだいたい にている	19	17.8	17	29.9	36	22.0
	回答なし	2	1.9	0	0.0	2	1.2
2. 老人会、婦人 会、青年団、町 内会、消防団	参加していない	83	77.6	41	71.9	124	75.6
	参加している	23	21.5	15	26.3	38	23.2
	参加しており、参加 者は性別、年齢、職 種の点で様々である	15	14.0	13	22.8	28	17.1
	参加しており、参加 者は性別、年齢、職 種の点でだいたい にている	8	7.5	2	3.5	10	6.1
	回答なし	1	0.9	1	1.8	2	1.2
3. 農協・生協・ 公民館 市民・N PO活動	参加していない	76	71.0	38	66.7	114	69.5
	参加している	30	28.0	19	33.3	49	29.9
	参加しており、参加 者は性別、年齢、職 種の点で様々である	26	24.3	13	22.8	39	23.8
	参加しており、参加 者は性別、年齢、職 種の点でだいたい にている	4	3.7	6	10.5	10	6.1
	回答なし	1	0.9	0	0.0	1	0.6

上記の3つの活動の中では、スポーツ、レクレーション、文化サークルへ「参加している」がもっとも高かった（男性56.1%、女性63.2%）。参加者をみると、男性では「性別、年齢や、職種の点で様々である」が多い。

問3. ストレスや気分がふさぐなどの心の状態がすぐれない日は、過去の1か月のうち、何日ほどありましたか？

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	107	100.0	57	100.0	164	100.0
まったくない	71	66.4	26	45.6	97	59.1
数日	32	29.9	27	47.4	59	36.0
1週間程度	0	0.0	0	0.0	0	0.0
2週間程度	2	1.9	1	1.8	3	1.8
3週間程度	0	0.0	0	0.0	0	0.0
1ヶ月中ほぼずっと	0	0.0	1	1.8	1	0.6
回答なし	2	1.9	2	3.5	4	2.4

「まったくない」と答えた方は、男性66.4%、女性45.6%であった。「数日」と答えた女性は47.4%であり、半数近くを占めている。反対に、2週間以上「気分がすぐれない」と答えた方は、全体で4人2.4%であった。

問4. あなたの周囲のご家族や友人との関係について、おたずねします。

		男性		女性		計	
		実数	%	実数	%	実数	%
全体数		107	100.0	57	100.0	164	100.0
1) 心を打ち明けて、自分の心配事や愚痴を話せる人はいますか？	はい	96	89.7	52	91.2	148	90.2
	いいえ	7	6.5	5	8.8	12	7.3
	回答なし	4	3.7	0	0.0	4	2.4
2) あなたは誰かの心配事や愚痴を聞いていますか？	はい	99	92.5	55	96.5	154	93.9
	いいえ	5	4.7	1	1.8	6	3.7
	回答なし	3	2.8	1	1.8	4	2.4
3) あなたが病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人がいますか？	はい	100	93.5	54	94.7	154	93.9
	いいえ	3	2.8	2	3.5	5	3.0
	回答なし	4	3.7	1	1.8	5	3.0
4) あなたは、ご家族や友人が病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしあげようと思う人がいますか？	はい	98	91.6	56	98.2	154	93.9
	いいえ	3	2.8	0	0.0	3	1.8
	回答なし	6	5.6	1	1.8	7	4.3

「心を打ち明けて、自分の心配事や愚痴を話せる人がいる」「誰かの心配事や愚痴を聞いている」また「病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしてくれる」「ご家族や友人が病気で数日間寝込んだ時に、看病や世話をしあげようと思う人がいる」と回答している人は、男女ともにほとんど9割以上であった。



問5. あなたは、ご近所のたいていの人は信頼できますか？それとも自分のことだけ考えていると思いますか？（10段階で選択）

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	107	100.0	57	100.0	164	100.0
1 信頼できる	8	7.5	3	5.3	11	6.7
2	16	15.0	4	7.0	20	12.2
3 やや信頼できる	32	29.9	19	33.3	51	31.1
4	13	12.1	6	10.5	19	11.6
5 どちらでもない	24	22.4	15	26.3	39	23.8
6	5	4.7	0	0.0	5	3.0
7 やや用心した方がよい	0	0.0	2	3.5	2	1.2
8	0	0.0	2	3.5	2	1.2
9 用心した方がよい	1	0.9	0	0.0	1	0.6
10 わからない	6	5.6	6	10.5	12	7.3
回答なし	2	1.9	0	0.0	2	1.2

「3 やや信頼できる」が最も多かった（男性 29.9%、女性 33.3%）。選択肢1～3の合計は、全体で50.0%であった。

問6. あなたは、ご近所のたいていの人は他の役に立とうとしていますか。それとも自分のことだけ考えていると思いますか？（10段階で選択）

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	107	100.0	57	100.0	164	100.0
1 人の役に立とうとしている	7	6.5	4	7.0	11	6.7
2	15	14.0	7	12.3	22	13.4
3	19	17.8	13	22.8	32	19.5
4	12	11.2	9	15.8	21	12.8
5 どちらでもない	32	29.9	6	10.5	38	23.2
6	3	2.8	2	3.5	5	3.0
7	6	5.6	1	1.8	7	4.3
8	2	1.9	1	1.8	3	1.8
9 自分のことだけ考えている	1	0.9	2	3.5	3	1.8
10 わからない	8	7.5	12	21.1	20	12.2
回答なし	2	1.9	0	0.0	2	1.2

「人の役に立とうとしている」と感じる方の割合（選択肢1～3の合計）は、男性38.3%、女性42.1%であった。

問7. あなたは、現在のご自身の生活に満足していますか？

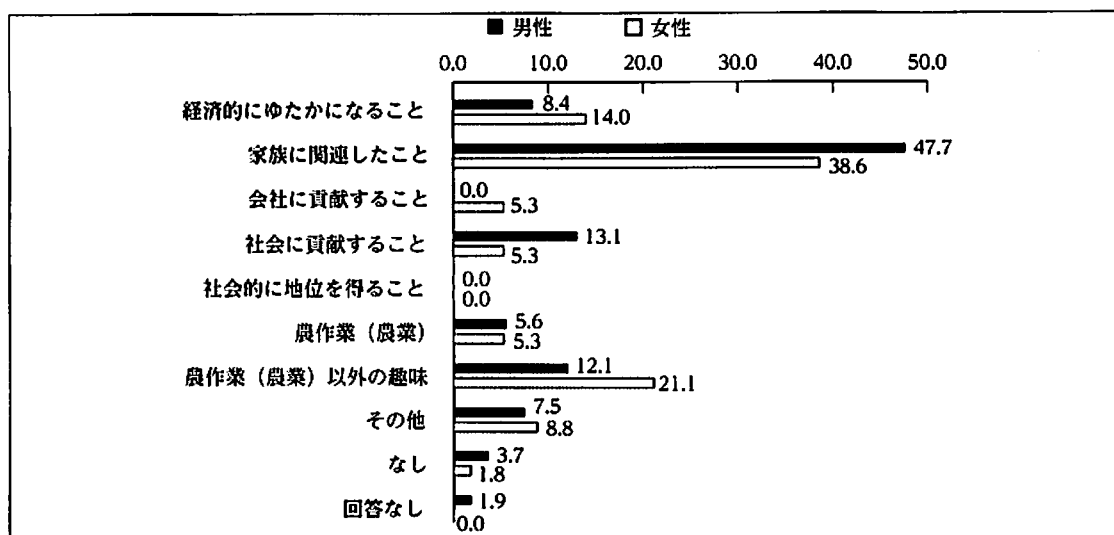
	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	107	100.0	57	100.0	164	100.0
非常に満足している	16	15.0	9	15.8	25	15.2
満足している	70	65.4	36	63.2	106	64.6
どちらともいえない	18	16.8	8	14.0	26	15.9
やや不満足	2	1.9	3	5.3	5	3.0
不満足である	0	0.0	1	1.8	1	0.6
回答なし	1	0.9	0	0.0	1	0.6

「非常に満足している」は、男性15.0%、女性15.8%、「満足している」が男性65.4%、女性63.2%であった。

問8. あなたにとっての「いきがい」は次のどれですか？（単独回答）

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	107	100.0	57	100.0	164	100.0
経済的にゆたかになること	9	8.4	8	14.0	17	10.4
家族に関連したこと	51	47.7	22	38.6	73	44.5
会社に貢献すること	0	0.0	3	5.3	3	1.8
社会に貢献すること	14	13.1	3	5.3	17	10.4
社会的に地位を得ること	0	0.0	0	0.0	0	0.0
農作業（農業）	6	5.6	3	5.3	9	5.5
農作業（農業）以外の趣味	13	12.1	12	21.1	25	15.2
その他	8	7.5	5	8.8	13	7.9
なし	4	3.7	1	1.8	5	3.0
回答なし	2	1.9	0	0.0	2	1.2

問 8. あなたにとっての「いきがい」は次のどれですか？



男女ともに「家族に関連したこと」をいきがいと感じている人が最も多かった（男性 47.7%、女性 38.6%）。次いで、男性では「社会に貢献すること」、「農作業（農業）以外の趣味」、女性では、「農作業（農業）以外の趣味」が多かった。

問 9. 現在あなたは配偶者と一緒に暮らしていますか？

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	107	100.0	57	100.0	164	100.0
同居している	100	93.5	48	84.2	148	90.2
死別した	4	3.7	5	8.8	9	5.5
離別した	0	0.0	2	3.5	2	1.2
別居している	0	0.0	2	3.5	2	1.2
結婚したことがない	2	1.9	0	0.0	2	1.2
回答なし	1	0.9	0	0.0	1	0.6

男女ともに、「同居している」方が多かった（男性 93.5%、女性 84.2%）。

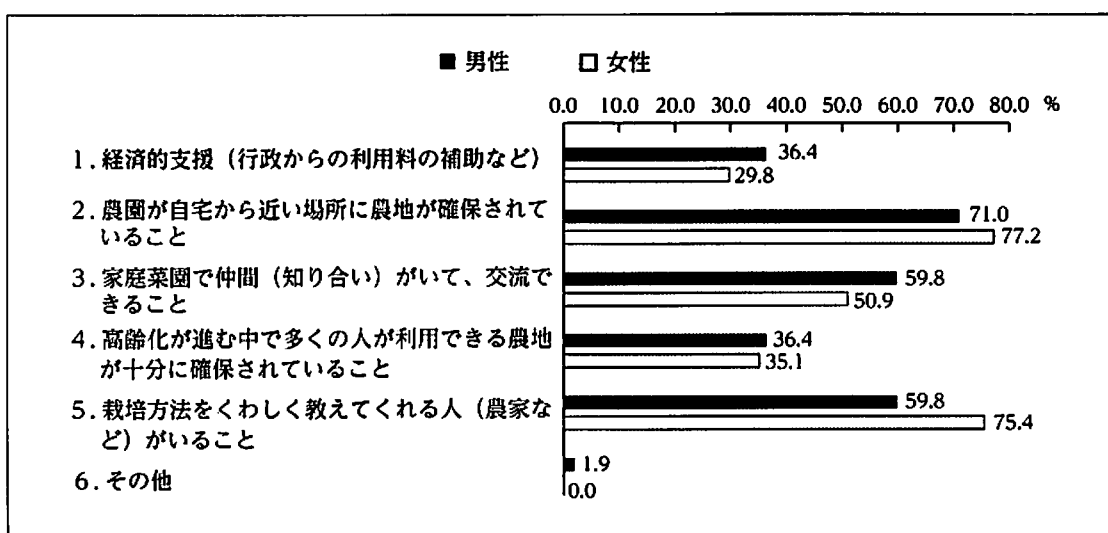
問 10. 最終学歴についてお尋ねします。

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	107	100.0	57	100.0	164	100.0
中学校卒	6	5.6	4	7.0	10	6.1
高校卒	31	29.0	36	63.2	67	40.9
専門学校・短大卒	6	5.6	9	15.8	15	9.1
大学卒	59	55.1	5	8.8	64	39.0
大学院卒	2	1.9	2	3.5	4	2.4
その他	1	0.9	0	0.0	1	0.6
回答なし	2	1.9	1	1.8	3	1.8

男性をみると大学卒が 55.1%と最も多く、女性は高校卒、次いで専門学校・短大卒の方が多かった。

問 11. 高齢になっても農業体験農園（農作業）または家庭菜園を続けるためには、どのような支援が必要だと思いますか？（複数回答可）

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	107	100.0	57	100.0	164	100.0
1. 経済的支援（行政からの利用料の補助など）	39	36.4	17	29.8	56	34.1
2. 農園が自宅から近い場所に農地が確保されていること	76	71.0	44	77.2	120	73.2
3. 家庭菜園で仲間（知り合い）がいて、交流できること	64	59.8	29	50.9	93	56.7
4. 高齢化が進む中で多くの人が利用できる農地が十分に確保されていること	39	36.4	20	35.1	59	36.0
5. 栽培方法をくわしく教えてくれる人（農家など）がいること	64	59.8	43	75.4	107	65.2
6. その他	2	1.9	0	0.0	2	1.2



男女ともに、高齢になっても農業または家庭菜園を続けるために「自宅から近い場所に農地があること」と回答した人が最も多く、男性71.0%、女性77.2%であった。次いで「栽培方法を詳しく教えてくれる人があること」（男性59.8%、女性75.4%）、「家庭菜園で仲間がいて交流できること」（男性59.8%、女性50.9%）であった。

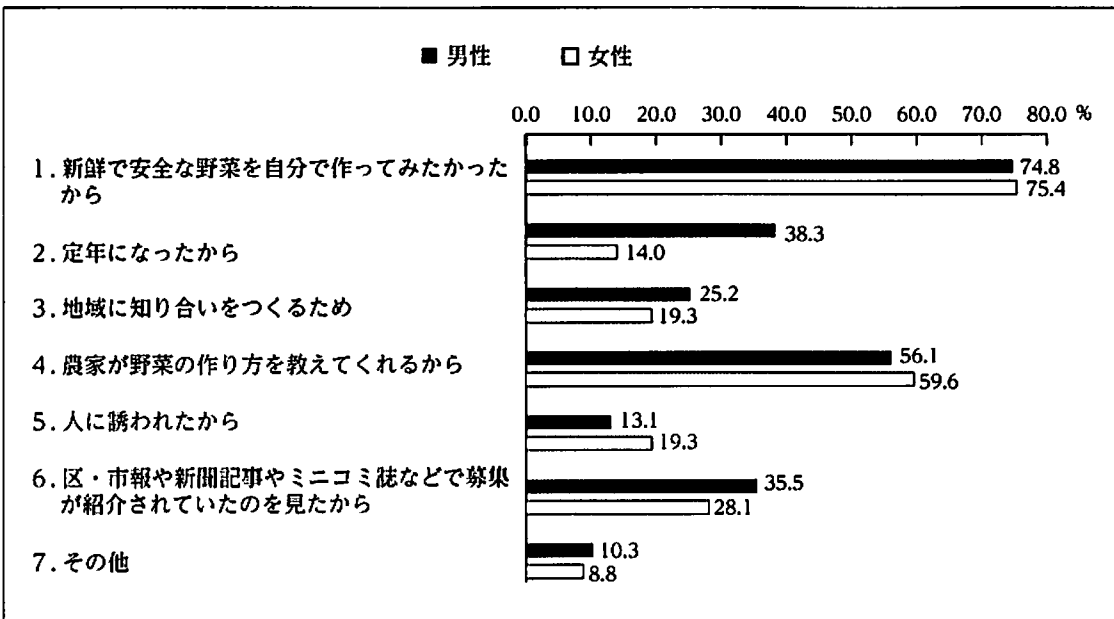
問 12. 農業体験農園に参加したのはいつからですか？

		男性		女性		計	
		実数	%	実数	%	実数	%
全体数		107	100.0	57	100.0	164	100.0
今年から		8	7.5	1	1.8	9	3.5
～年前から		97	90.7	54	94.7	151	58.3
～年前から農業体験 農園に参加した	1年前から	3	2.8	3	5.3	6	2.3
	2～5年前から	51	47.7	40	70.2	91	35.1
	6～10年前から	30	28.0	7	12.3	37	14.3
	11～15年前から	13	20.6	6	10.5	28	10.8
回答なし		2	1.9	2	3.5	4	38.2

経験年数の長い方が多い。「2～5年前」から参加されている方がもっとも多かった（男性 47.7%、女性 70.2%）。

問 13. 農業体験農園に参加した理由はどのようなものですか。(複数回答可)

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	107	100.0	57	100.0	164	100.0
1. 新鮮で安全な野菜を自分で作ってみたかったから	80	74.8	43	75.4	123	75.0
2. 定年になったから	41	38.3	8	14.0	49	29.9
3. 地域に知り合いをつくるため	27	25.2	11	19.3	38	23.2
4. 農家が野菜の作り方を教えてくれるから	60	56.1	34	59.6	94	57.3
5. 人に誘われたから	14	13.1	11	19.3	25	15.2
6. 区・市報や新聞記事やミニコミ誌などで募集が紹介されていたのを見たから	38	35.5	16	28.1	54	32.9
7. その他	11	10.3	5	8.8	16	9.8



男女ともに「新鮮で安全な野菜を自分で作ってみたかったから」が最も多かった（男性74.8%、女性75.4%）。次いで、「農家が野菜の作り方を教えてくれるから」で男性56.1%、女性59.6%と多かった。また、男性では、「定年になったから」が、38.3%であった。

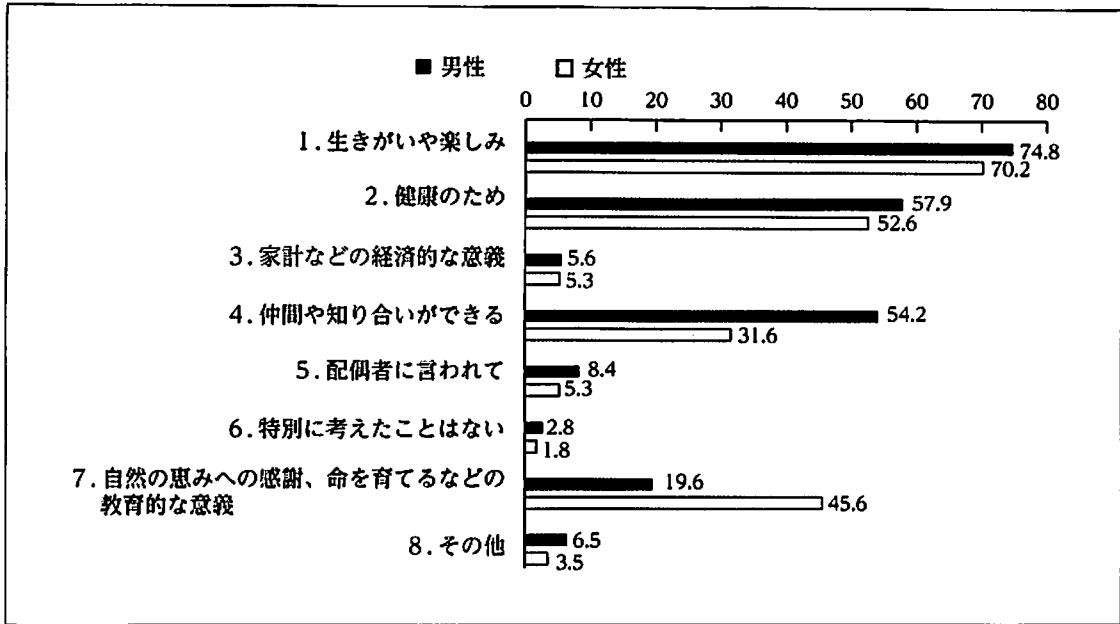
問 14. 農業（体験農園）に来る頻度

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	107	100.0	57	100.0	164	100.0
毎日出かける	4	3.7	1	1.8	5	3.0
週1日以上	94	87.9	42	73.7	136	82.9
月1回以上	6	5.6	11	19.3	17	10.4
年1回以上	1	0.9	0	0.0	1	0.6
その他	0	0.0	0	0.0	0	0.0
回答なし	2	1.9	3	5.3	5	3.0

男女ともに「週1日以上」農園に出かける方が、もっとも多かった（男性87.9%、女性73.7%）。

問 15. 農業（体験農園）をしている理由は何ですか。（複数回答可）

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	107	100.0	57	100.0	164	100.0
1. 生きがいや楽しみ	80	74.8	40	70.2	120	73.2
2. 健康のため	62	57.9	30	52.6	92	56.1
3. 家計などの経済的な意義	6	5.6	3	5.3	9	5.5
4. 仲間や知り合いができる	58	54.2	18	31.6	76	46.3
5. 配偶者に言われて	9	8.4	3	5.3	12	7.3
6. 特別に考えたことはない	3	2.8	1	1.8	4	2.4
7. 自然の恵みへの感謝、 命を育てるなどの教育的な意義	21	19.6	26	45.6	47	28.7
8. その他	7	6.5	2	3.5	9	5.5



男女とも「生きがいや楽しみ」が最も多く（男性 74.8%、女性 70.2%）、「健康のため」が続いた。その他、男性では「仲間や知り合いができる」、女性では、「自然の恵みへの感謝、命を育てる等の教育的な意義」が多かった。

問 16. 農業体験農園を通じて生活上、変わったことがありますか？

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	107	100.0	57	100.0	164	100.0
変わったことはなし	27	25.2	7	12.3	34	20.7
変わったことがあった	78	72.9	48	84.2	126	76.8
回答なし	2	1.9	2	3.5	4	2.4

「農業体験農園を通じて生活が変わったことがあった。」と答えた方が男女ともに多かった（男性 72.9%、女性 84.2%）。具体的な生活が変わった内容については、「野菜の食べる量や頻度が増えたなど食生活の変化」がもっとも多く、次いで「農業に関する関心や理解」、「農業に対する楽しみ」、「規則正しい生活」など健康維持に関すること、「仲間や地域との交流の機会が多くなった」などであった。



問 16 に対する自由記載 生活の変化について

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	79	100.0	49	100.0	128	100.0
食への関心・食生活の変化・ 野菜の摂取量が増えた	27	25.2	29	50.9	56	21.6
健康維持	9	8.4	6	10.5	15	5.8
農園に出かける楽しみ	5	4.7	1	1.8	6	2.3
野菜を購入するときの意識が 変わった	1	0.9	3	5.3	4	1.5
農業野菜作りから学ぶこと	9	8.4	0	0.0	9	3.5
農業に対する楽しみや関心が でてきた（野菜作りの楽しみ 等）	21	19.6	11	19.3	32	12.4
自然への関心	9	8.4	2	3.5	11	4.2
規則正しい生活等の変化	12	11.2	11	19.3	23	8.9
仲間や地域との交流を持てる ようになった	26	24.3	8	14.0	34	13.1
自分の役割を持てた	1	0.9	0	0.0	1	0.4
農業従事者への関心のも持ち 方の変化	3	2.8	1	1.8	4	1.5
家族との関わりの変化	0	0.0	3	5.3	3	1.2

## 自由記載の具体的な内容

### 食への関心・食生活の変化・野菜の摂取量が増えた

- ▶新鮮な野菜を意識してとるようになった。
- ▶自分で育てた野菜は、工夫して無駄なく使うようになった。
- ▶家族が野菜のことにおのずと関心を持つようになり、収穫の喜びをみんなで楽しむようになった。
- ▶収穫した野菜を食べるので、全体的に野菜の摂取量が増えた。
- ▶野菜の食べ方を工夫し、美味しく食べようという意識が高まった。夫との共通の話題が増えた（夫も時々参加）。変形した野菜でも愛しく感じられ、食べ尽くす事を考えるようになった。
- ▶新鮮な野菜がこんなに美味だという事を改めて知った。野菜を買うことが少なくなった。

### 健康維持

- ▶生活リズムがパターン化した。
- ▶新鮮で安全な野菜を食すことができ健康上大変良い。
- ▶体を動かすので、より健康になった。
- ▶車を使わず自転車で農園まで通うので、体力・筋肉がついた。
- ▶農業体験通じて、健康維持に役立っている。
- ▶早朝に畑へ出かけて作業しているので健康ライフとなった。

### 農園に出かける楽しみ

- ▶今までに感じたことのない楽しさを味わった。仕事を辞めても畑をしながらいきがいのある日々を送ることができると思った。
- ▶農園に散歩しながら行き、成長を楽しみにしている。
- ▶農園に行くのが楽しみになった。

### 農業に対する楽しみや関心がでてきた

- ▶野菜の世話が楽しい。野菜の成長を見るのが楽しい。
- ▶農業の奥深さを実感・体感して、より興味が湧いた。
- ▶農業をすることで食に関する気持ちに感謝と自然のありがたさを強く感じるようになった。
- ▶街中で育てて農作物を作った事は全くなかったが、実際にやってみて、農作業の大変さや、とれたての野菜の美味しいこと、小さな種から大きな実ができる自然の凄さ等学ぶことが多くあります。
- ▶家族が野菜のことにおのずと関心を持つようになり、収穫の喜びをみんなで楽しむようになった。

- ▶野菜の育ちを願って世話したり、収穫の喜びを味わったり、土に触れたりすることで、感動や心身の潤いを多く得られるようになり、生活にも張りが出てきた。
- ▶広い場所で無心で作業していると時間が経つのを忘れ、作業が終わると達成感がある。順調に成育し、収穫した時の喜びと、子や孫に分けるのも大きな喜びを感じる。一方、思うようにうまく出来なかった時は、プロの農家の大変さや、技術の高さに感心する。

#### 仲間や地域との交流を持てるようになった

- ▶地域の知人が増え、地元に対する関心が増えた。
- ▶近隣との交流が出来た。交流する仲間が多く出来た。
- ▶定年後の地域の溶け込みがスムーズに出来ること。
- ▶地域の人との交流が増え、様々な情報を得る事が出来た。
- ▶近所の人に配る、頂く等で交流が深まった。
- ▶定年後の余暇の充実、農業体験を通じて家族や知人とのコミュニケーションの活性化、健康維持、等々で役立っている。
- ▶地域の仲間が間違いなく増えた。自分の生きがいになっている。

問 17. 農業体験農園を今後とも続けたいとお考えですか？

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	107	100.0	57	100.0	164	100.0
自分が健康なうちは死ぬまでずっと続けたい	49	45.8	21	36.8	70	42.7
75歳を過ぎたら体力的に無理かなと思っている	26	24.3	14	24.6	40	24.4
家族の介護等で継続できなくなる限り、続けるつもりである	14	13.1	10	17.5	24	14.6
2、3年したらやめるつもりである	4	3.7	0	0.0	4	2.4
特に考えていない	9	8.4	9	15.8	18	11.0
回答なし	5	4.7	3	5.3	8	4.9

男女ともに、「自分が健康なうちは死ぬまで続けたい」と思われた方が多かった（男性 45.8%、女性 36.8%）。また、「継続できなくなる限り続けるつもり」と答えた方が、男性 13.1%、女性 17.5%であった。一方、「75歳を過ぎたら体力的に無理」と感じの方が、男性 24.3%、女性 24.6%であった。

問 18. 国有地の空き地（相続税の物納用地等）や公園を高齢化した市民が利用できる農業体験農園などに変えることについてどのように考えますか（複数回答可）。

	男性		女性		計	
	実数	%	実数	%	実数	%
全体数	107	100.0	57	100.0	164	100.0
1. 一人暮らしの高齢者が増えているので、高齢者が歩いて来ることができる地域で集まって野菜づくりをできるような仕組みを作ればよい	55	51.4	36	63.2	91	55.5
2. 区や市が国から借りて、開設すればよい	34	31.8	26	45.6	60	36.6
3. 農家やNPO等が利用・管理に関わる仕組みをつくる必要がある	48	44.9	27	47.4	75	45.7
4. 高齢者の生きがいづくりと健康のために、進めることが望ましい	68	63.6	42	73.7	110	67.1
5. 特に必要はないと思う	2	1.9	3	5.3	5	3.0
6. その他	11	10.3	2	3.5	13	7.9

「高齢者の生きがいづくりと健康のために、進めることが望ましい」と回答した方が男女ともに多かった（男性 63.6%、女性 73.7%）。次いで、「高齢者が歩いて来ることができる地域で集まって野菜づくりをできる仕組みを作ればよい」と答えた方が男性 51.4%、女性 63.2%と多かった。